

浦賀道を歩く(5回シリーズ)



YOKOSUKA CITY SINCE 1907

横須賀が好き!

NPO法人 よこすかシティガイド協会
後援: 横須賀市、横須賀市教育委員会



○三浦半島の古道

- ・古代の東海道 「うみつみち」
「ヤマトタケルの道」
- ・中世 鎌倉時代の道「もののふの道」
- ・近世 江戸時代 浦賀奉行所設置（1720）
脇往還 「浦賀道」① ②

○2つの浦賀道

西回り浦賀道②

- ・東海道戸塚宿ないし藤沢宿→鎌倉雪ノ下村→堀内村→下平作→浦賀

東回り浦賀道①

- ・東海道保土ヶ谷宿→金沢→浦賀

○継立場村とは

江戸時代の五街道やその脇往還に設けられた制度で、馬、人足を待機させ幕府の公的な通行に人馬を提供する村

○助郷

周辺の村々に助郷役人馬が設定された

○浦賀奉行所

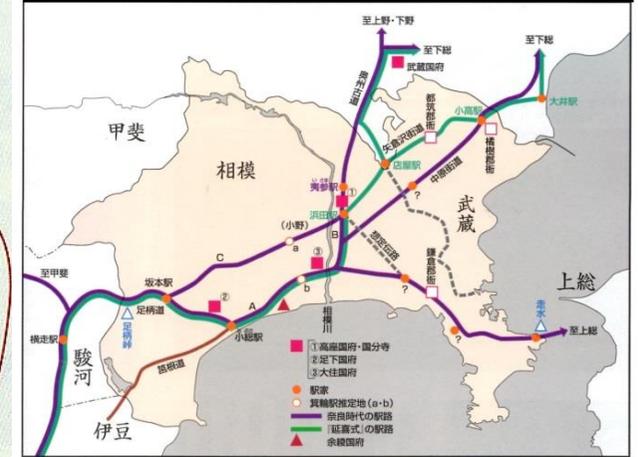
職務

- ア、江戸出入りの船舶の検査監督
 - イ、幕府から預けられた村々の農政と裁判
 - ウ、近世後期、外国船に対する防備と応接
- 享保5年（1720）下田から移転『海の関所』の時代から、異国船が増えるに従い、職務の重点が『海防の関所』に変化



○古東海道

「うみつみち」「ヤマトタケルの道」



○新編相模の国風土記稿

126巻江戸幕府官選の地誌1841年脱稿地方史研究にも役立ち、地誌としてすぐれたもの

○浦賀道見取絵図

江戸時代、幕府は脇往還も含めた五街道の測量図の作成を命じ、文化3年（1806）に通称「五街道分間延絵図（ごかいどうぶんけんのべえず）」が完成した。この測量絵図は全91巻あり、その中の1巻に浦賀道を描いた「浦賀道見取絵図」がある。

